

論文投稿規定

(2009年11月26日改訂)

- 論文はハンセン病ならびにその近接領域に関するもので、総説、原著、ミニレビュー、抄録、文献紹介、その他などとし、オリジナリティーに富み、他誌（外国誌を含む）に投稿中もしくは既発表でないものとする。総会における特別講演、教育講演、受賞講演、シンポジウム、ワークショップ等は総説等として取り扱う。投稿者は原則として日本ハンセン病学会員に限る。使用言語は日本語また英語とする。
- 人体を対象とした研究では、2008年改訂のヘルシキ宣言（1975年）に則し被検者には研究内容についてあらかじめ十分に説明し、自由意志に基づく同意（インフォームドコンセント）を得ていること、動物を対象とした研究では「実験動物の飼養及び保管に関する基準」、ヒトゲノム・遺伝子解析研究においては「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、調査研究などについては「疫学研究に関する倫理指針」等に則して実施し、本文中に所属施設の各種関連委員会またはこれに準じるものの承認を得て実施したことを記載する。また、利益相反について関係を有する場合には、その企業・団体名も含めて明記する。
- 論文は最近の掲載論文を参照の上、次の要領に従って記載する。
 - 論文の構成：表紙、要旨（ミニレビューでは不要）、本文および図表、英文抄録。原稿は、A4用紙に10ポイント以上の文字を用い、上下左右の余白を30mm以上空けて、ダブルスペースで記載する。論文の長さは刷り上がり8ページ以内を原則とする。刷り上がり1ページの字数は約1800字である。
 - 表紙：原稿の冒頭は表紙とし、題名、著者名、所属機関名、キーワード（5つ以内）の順に記す。また、連絡先（氏名、所属、住所、電話番号、FAX番号、e-mailアドレス）を記載する。
 - 要旨：論文の要旨を400字以内にまとめる。
 - 原著論文は原則として、要旨、はじめに、材料と方法、結果、考察、謝辞、文献、英文抄録、の項目に分けて記述する。
 - 文献は重要なもののみ30件以内にとどめ、本文の右肩に番号を振り、引用順にまとめて本文の末尾に下記の例にならって、引用番号、著者名、題名、誌名（Index Medicusまたは医学中央雑誌の省略名）、巻、ページ、西暦年を次の形式で記載する。共著者名は全員を記載する。
 - 中嶋 弘：啓啓. ハンセン病の外來診療（石橋康正，昆 宰市，中嶋 弘監修）pp82-84, メジカルセンス, 東京, 1997.
 - 清水美奈, 檜垣祐子, 川島 眞, 肥田野 信, 杉田泰之, 石井則久: LL型ハンセン病の1例. 臨床 52: 411-413, 1998.
 - 石井則久, 永岡 譲, 森 修一, 鈴木幸一: 2006年における世界のハンセン病の現況について. 日ハンセン病会誌 76: 19-28, 2007.
 - Modlin RL, Rea TH: Immunopathology of leprosy. Leprosy (Hastings RC ed) pp225-234, Churchill Livingstone, London, 1994.
 - Ishii N, Sugita Y, Sato I, Nakajima H: Sparfloxacin in the treatment of leprosy patients. Int J Dermatol 36: 619-621, 1997.
 - 写真、図および表は白地に黒色またはカラーで明瞭なものとする。JPEG形式のファイルあるいは高解像度で印刷したものを提出する。
 - 原稿は新かなづかいを用いた平易な文体とし、外来語、外国人名および外地名は原則として原綴りのままとする。医学用語は、日本医学会医学用語辞典に準拠する。
 - 英文抄録：題名、著者名、所属、250語以内の抄録、5個以内のkey wordsの順で記載する。また、連絡先（氏名、所属、住所、電話番号、FAX番号、e-mailアドレス）を記載する。
 - 必要な略語は本文中の初出の際に定義する。
- 論文の採否と編集
 - 論文の採否、体裁などは編集委員会で決定する。
 - 論文掲載は原則として受け順によるが、編集委員会で適宜調整することがある。また、早急に掲載希望のものは特別掲載として優先的に取り扱う。ただし、この場合は全ページを著者の負担とする。なお、原則として投稿原稿およびCD-Rなどは返却しない。
- 掲載料
 - 掲載料は無料とする。但し刷り上がり8ページを超過した場合は超過ページの実費、カラー写真版の作製および手書き原稿の場合の文字入力代金は実費を別に申し受ける。
 - 別刷り50部を無料で進呈する。それ以上は実費を申し受ける。
- 論文の送付
 - 原稿は、CD-Rなどでの郵送、あるいはEメール添付などで送付する。原則として本文および図表はWindows対応のMicrosoft社WORDまたはテキスト形式を推奨するが、EXCEL形式の表、およびJPEG形式の図も受け付ける。その他の場合は事務局に問い合わせる。
 - 原稿送付先：〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-2-1 国立感染症研究所ハンセン病研究センター内「日本ハンセン病学会雑誌編集委員会」。原稿のメールでの送付先・問い合わせ先：postmaster@hansen-gakkai.jp
- 本学会誌に掲載された記事または論文の著作権は、日本ハンセン病学会に帰属する。